

技術報告（第8号）「高圧ケーブル接続部の事故事例とその対策（その3）」発行の紹介

技術・環境委員会 第1WG

1. はじめに

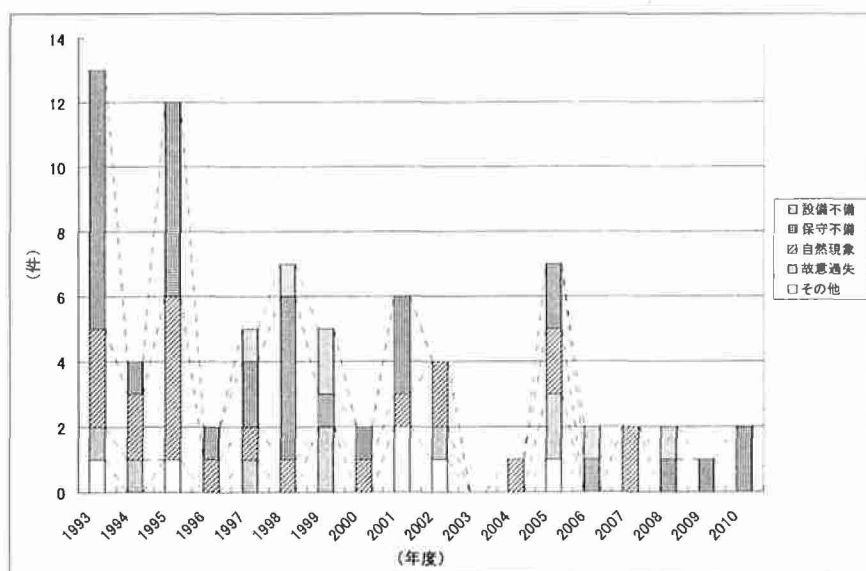
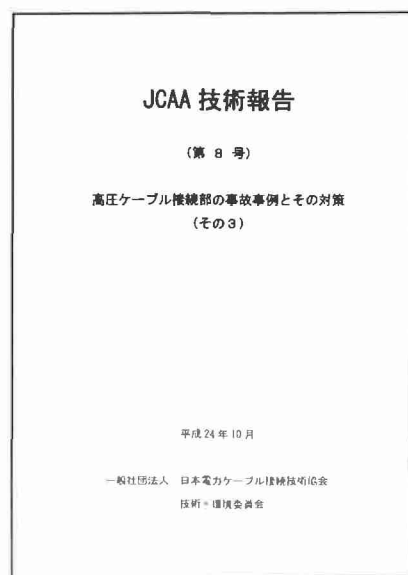
JCAAは電力ケーブル接続技術の向上を図るとともに安定供給の使命を担っております。電力ケーブル接続技術に関する安全確保を目的に技術報告（第1号）、（第4号）で1983年～1991年に発生した事故事例とその対策を報告しました。その後、製品や事故の様相も変化してきております。この度、技術報告（第8号）として、1993年～2010年に発生した事故件数、事故事例を中心に「高圧ケーブル接続部の事故事例とその対策（その3）」を発行しました。

2. 報告書の概要

(1) 全国の事故件数と統計

電気保安協会全国連絡会議殿からご提供のありました1993年～2010年に発生した事故件数の集計と統計を取りまとめています。事故の内訳として波及事故に至った事故が77件、波及事故に至らなかった事故が718件でした。事故原因の分類は主要因を以下の5つに分類しています。

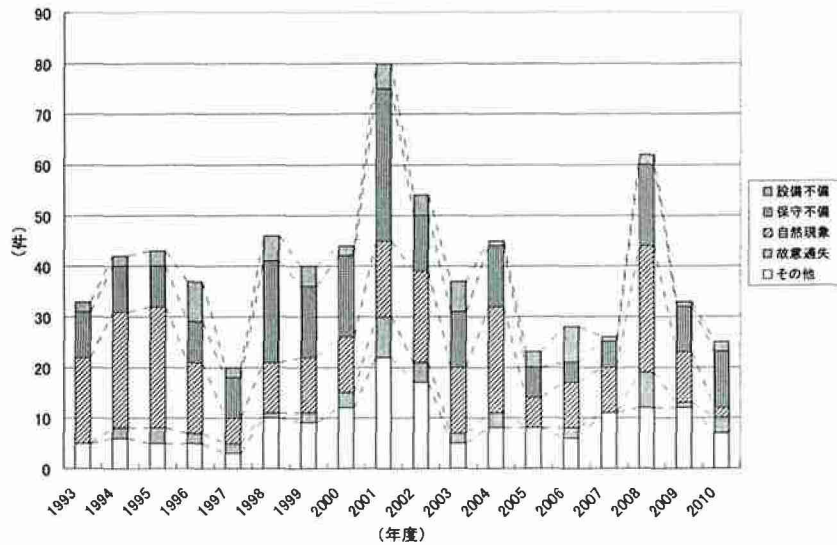
- ・設 備：施工不良などが主要因と思われるもの
- ・保 守：保守が不十分であったと思われるもの
- ・自然現象：気象条件（落雷など）が主要因と思われるもの
- ・故意・過失：故意または過失が主要因と思われるもの
- ・そ の 他：上記以外または不明なもの



波及事故に至った事故

設 備	6 件
保 守	35 件
自然現象	22 件
故意・過失	8 件
そ の 他	6 件

図1 年度別の波及事故に至った事故件数



**波及事故に
至らなかった事故**

設備	60件
保守	207件
自然現象	243件
故意・過失	45件
その他	163件

図2 年度別の波及事故に至らなかった事故件数

(2) 事故事例

(一財) 関西電気保安協会殿からご提供のありました2003年～2011年に関西地区で発生した事故事例25件の事故状況と統計、そしてJCAA会員社で把握している事故事例18件の事故内容と原因について掲載しています。

(3) 事故防止対策

調査の結果、保守（保守不完全、自然劣化、過負荷等）に起因する事故が多い傾向にあることから、その対策としてJCAAが推奨する保守点検を掲載しています。

3. おわりに

本技術報告は近年の事故の件数の傾向とともに事故に至る原因と対策を掲載しております。高圧ケーブル接続部の保守管理を構築するうえでも、本書をご利用頂き、事故防止の注意喚起のためにご活用して頂けましたら幸いです。

JCAAホームページ「技術資料」に掲載される予定です。

(<http://www.star-net.or.jp/jcaa/gijyutu.html>)